

原点を O とする座標空間に 3 つの点 $A(3, 0, 0)$, $B(0, 2, 0)$, $C(0, 0, 1)$ がある。

(1) O から 3 点 A, B, C を含む平面に垂線を下し, この平面と垂線との交点を H とする。点 H の座標を求めよ。

(2) 四面体 $OABC$ に内接する球の半径 r を求めよ。 (早稲田大*)

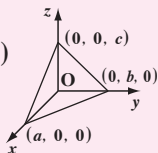
ヒント!

(1) 3 点 A, B, C を通る平面の方程式は $\frac{x}{3} + \frac{y}{2} + \frac{z}{1} = 1$ となるんだね。(2) 内接球の内心を I とおいて, 四面体 $OABC$ の体積 V を I を頂点とする 4 つの四面体の体積の総和で表すことにより, 内接球の半径 r を求めることができる。

基本事項

3 点 $(a, 0, 0)$, $(0, b, 0)$, $(0, 0, c)$ を通る平面の方程式は,

$$\frac{x}{a} + \frac{y}{b} + \frac{z}{c} = 1 \dots \textcircled{1}$$
 で表される。
 この 3 点の座標を①に代入して, 成り立つことから確認できる。



(1) 3 点 $A(3, 0, 0)$, $B(0, 2, 0)$, $C(0, 0, 1)$ を通る平面を π とおくと,

この方程式は,
 平面 $\pi: \frac{x}{3} + \frac{y}{2} + \frac{z}{1} = 1$ より,
 $2x + 3y + 6z = 6 \dots \textcircled{1}$ となる。

よって, この法線ベクトルを \vec{n} とおくと, $\vec{n} = (2, 3, 6)$ である。

原点 O から平面 π に下ろした垂線の足を $H(x_1, y_1, z_1)$ とおくと, これは平面 π 上の点より, これらの座標を

①に代入して,

$$2x_1 + 3y_1 + 6z_1 = 6 \dots \textcircled{2}$$

となる。

また, \vec{OH} と平面 π は直交するので,

$\vec{OH} // \vec{n}$ より, 定数 k を用いて,

$$\vec{OH} = (x_1, y_1, z_1) = k\vec{n} = k(2, 3, 6) = (2k, 3k, 6k) \dots \textcircled{3}$$

となる。よって,

$$x_1 = 2k, y_1 = 3k, z_1 = 6k \text{ であり,}$$

これらを②に代入して,

$$4k + 9k + 36k = 6$$

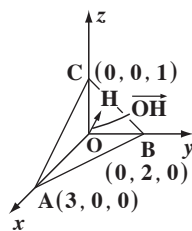
$$49k = 6 \quad \therefore k = \frac{6}{49} \text{ となる。}$$

これを③に代入して,

$$\vec{OH} = \left(\frac{12}{49}, \frac{18}{49}, \frac{36}{49} \right)$$

$$\therefore H \text{ の座標は, } H \left(\frac{12}{49}, \frac{18}{49}, \frac{36}{49} \right)$$

である。……………(答)



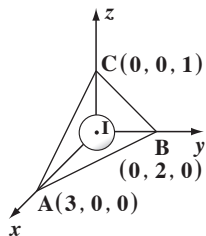
(2) この四面体 $OABC$ の体積を V とおくと、

$$V = \frac{1}{3} \times \underbrace{\triangle OAB}_{\text{底面積}} \times \underbrace{OC}_{\text{高さ1}}$$

$$= \frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times 3 \times 2 \times 1$$

$\therefore V = 1 \dots\dots$ ④ とする。

ここで、四面体 $OABC$ の内接球の中心を I とおき、その半径を r とおくと、



四面体 $OABC$ の体積 V は、次の 4 つの四面体の体積の緩和となる。

(i) 四面体 $IOAB$ の体積 V_1

$$V_1 = \frac{1}{3} \times \underbrace{\triangle OAB}_{\text{底面積}} \times r = r \dots\dots$$
⑤

(ii) 四面体 $IOBC$ の体積 V_2

$$V_2 = \frac{1}{3} \times \underbrace{\triangle OBC}_{\text{底面積}} \times r = \frac{1}{3} r \dots\dots$$
⑥

(iii) 四面体 $IOCA$ の体積 V_3

$$V_3 = \frac{1}{3} \times \underbrace{\triangle OCA}_{\text{底面積}} \times r = \frac{1}{2} r \dots\dots$$
⑦

(iv) 四面体 $IABC$ の体積 V_4 について、
底面の $\triangle ABC$ の面積は、

$$\overline{AB} = \overline{OB} - \overline{OA} = (0, 2, 0) - (3, 0, 0)$$

$$= (-3, 2, 0)$$

$$\overline{AC} = \overline{OC} - \overline{OA} = (0, 0, 1) - (3, 0, 0)$$

$$= (-3, 0, 1)$$

$$|\overline{AB}|^2 = 9 + 4 = 13, \quad |\overline{AC}|^2 = 9 + 1 = 10$$

$$\overline{AB} \cdot \overline{AC} = (-3)^2 + 0 + 0 = 9 \text{ より,}$$

$$\triangle ABC = \frac{1}{2} \sqrt{|\overline{AB}|^2 |\overline{AC}|^2 - (\overline{AB} \cdot \overline{AC})^2}$$

$$= \frac{1}{2} \sqrt{13 \times 10 - 9^2}$$

$$= \frac{1}{2} \sqrt{49} = \frac{7}{2}$$

よって、

$$V_4 = \frac{1}{3} \times \underbrace{\triangle ABC}_{\text{底面積}} \times r = \frac{7}{6} r \dots\dots$$
⑧

以上 (i) ~ (iv) の ⑤ ~ ⑧ より、

$$V = \underbrace{V_1}_{\text{①}} + \underbrace{V_2}_{\text{②}} + \underbrace{V_3}_{\text{③}} + \underbrace{V_4}_{\text{④}}$$

$$= \frac{1}{3} r + \frac{1}{3} r + \frac{1}{2} r + \frac{7}{6} r$$

$$\left(1 + \frac{1}{3} + \frac{1}{2} + \frac{7}{6} \right) r = 1$$

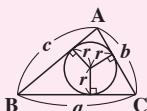
$$\frac{6+2+3+7}{6} r = \frac{18}{6} r = 3$$

$\therefore r = \frac{1}{3}$ である。……………(答)

参考

これは、 $\triangle ABC$ の内接円の半径 r を求める公式：

$$S = \frac{1}{2} (a + b + c) \cdot r$$

(S : $\triangle ABC$ の面積)  の立体ヴァージョンと考えることができるんだね。